

The Record *vol.619*

Music enables communication to go beyond languages. This is the reason why some emotions and impressions can be conveyed only through music. Recorded media shoulder the most important role as a vehicle to convey such emotional impressions to people. Despite the changes in the form of music carriers from analog media such as LPs to digital media, its role remains unchanged.

The Recording Industry Association of Japan (RIAJ) contributes toward the healthy development of Japanese culture via various activities including the spread of recorded media and the enlightenment of copyright consciousness.

| 会長交替のご挨拶

| 平成 22 年度事業報告

| 2010 年世界の音楽産業

3月11日に発生しました東日本大震災で被災された皆様に心よりお見舞い申し上げますとともに、被災地の一日も早い復興をお祈り申し上げます。



Contents

会長交替のご挨拶.....	2
Monthly News Digest	3
特集	
平成 22 年度事業報告.....	5
2010 年世界の音楽産業.....	9
Data File.....	12
Monthly Production Report.....	13
GOLD DISK.....	14



このエルマークは、レコード会社・
映像製作会社が提供するコンテンツを
示す一般社団法人 日本レコード協会の
登録商標です

会長交替のご挨拶



北川直樹
新会長

このたび、会員社の皆様からご推挙をいただき、石坂前会長の後任として、日本レコード協会会長に就任することになりました。

一般社団法人日本レコード協会は1942年の設立以来、来年で70周年を迎えます。

この歴史ある協会の責任者として、今後皆様のご支援とご協力をいただきながら、レコード産業の振興に微力ながら貢献したいと思っております。どうぞ、よろしくお願いたします。

さて、レコード産業は、ここ数年来、非常に厳しい環境に晒され、幾多の問題に直面しています。

ネットワークの隆盛は、世界の産業構造や消費行動に劇的な影響を与え、変化を引き起していますが、レコード産業への影響も例外ではなく、関連業界も含めた音楽産業全体が様々な問題に直面し、対応を迫られています。

特に「違法音楽配信」は、著作権法の改正が施行されたにもかかわらず一向に沈静化する気配もなく、むしろ事態は深刻化しています。この状況が続けば、近い将来にも「音楽創造のサイクル」は崩壊し、音楽文化の衰退を招く深刻な問題になっていくと思われまいます。今後も引き続き重点推進事項に位置付けて取り組んでまいります。

その他にも重点課題としての「パッケージ商品の需要拡大策」、「日本音楽の海外展開支援」など、石坂前会長が打ち出し、展開してこられた諸施策は、関係省庁や団体等と連携を取りながら、これからも推進してまいります。

そして、レコード製作者を代表し、レコード製作者の権利を管理する団体として、日本のレコード産業の振興と音楽文化の発展に一層の努力を重ねてまいりますので、皆様の一層のご指導、ご鞭撻の程よろしくお願申し上げます。

最後に、業界の大きな変革期に、会長という重責を4年間に渡って務められ、日本のレコード産業の代表として尽力された石坂前会長に、心より感謝の意を表し、就任の挨拶とさせていただきます。



石坂敬一
前会長

先ずは3年11ヶ月に亘る協会長在任中に賜った皆様からの数々のご指導、ご協力に対し、衷心より御礼申し上げます。

振り返りますと、この間の日本のレコード産業は、音楽配信や映像商品が順調に成長する反面、「リーマンショック」による世界的不況が長引き、残念ながら音楽ソフトトータルではマイナス成長となってしまいました。

しかしながら、その中でも、いくつか光明も兆してきました。

レコード産業成長の大きな阻害要因である違法配信対策については、強力に運動を続けてきた著作権法30条の改正が2010年1月に施行され、「違法配信からのダウンロードも違法」となりました。

また、需要拡大策では、配信とパッケージの「共生と棲み分け」の2つの戦略や「大人の音楽」の取り組み強化を提唱し、その戦略も愈々「モノ」になってきました。

海外展開では、TIMM（東京国際ミュージックマーケット）の、実ビジネス面での成功と、アジア諸国の違法対策に注力し、着実に「前進」しているところでございます。

就任以来、「レコード産業の復活を果たす」を掲げ、「主張するRIAJ、行動するRIAJ」をモットーに、関係省庁をはじめ、国内外の諸機関、団体と積極的に連携し、レコード産業の諸問題の解決やレコード製作者の正当な権利を守り、日本の音楽文化の発展と産業の振興を図るため取り組んでまいりました。

RIAJの高度のシンクタンク化にも今後期待しております。

最後に、北川新会長をはじめとする新たなレコード協会に皆様からの倍旧のご支援をお願いすると共に、皆様のご健勝と今後の業界の発展を祈りつつ、退任の挨拶とさせていただきます。ありがとうございました。

5/11

動画共有サイトに市販DVDの映像をアップロードしていた被疑者逮捕

5月11日、埼玉県警大宮警察署およびサイバー犯罪対策課は、動画共有サイト「YouTube（ユーチューブ）」に当協会会員のレコード会社が権利を有する市販DVDの映像を無断でアップロードしていた福岡県在住の男性（51歳）を著作権法違反の疑いで逮捕した。

この男性は、当協会から動画共有サイト運営事業者への削除要請によって自らが投稿した動画が何度も削除されたにもかかわらず、2010年11月22日から2011年2月5日までの間、上記動画共有サイトへのアップロード行為を繰り返し行っていたものであ

る。なお、同署の発表では、「YouTube」への動画投稿者の摘発は全国初のことである。

5/27

理事会・総会開催

5月27日、東京都千代田区の東京會館において、当協会は第441回理事会、定時総会、および第442回理事会を開催し、平成22年度事業報告書、決算報告書および役員人事が承認された。会長には北川直樹（株）ソニー・ミュージックエンタテインメント代表取締役コーポレート・エグゼクティブ CEO が選任された。

事業報告書の詳細については、本誌5～8ページに掲載。

日本レコード協会 需要拡大キャンペーン 「大人の音楽～Age Free Music～」キャンペーン第6弾

5月11日より、「大人の音楽～Age Free Music～」キャンペーン第6弾が当協会会員社16社の参加により開始されました。

キャンペーン期間中に対象商品を購入し、商品に貼付されたシールを応募すると2011年9月末に開催予定の「Age Free Music」の提唱者でもある音楽評論家の富澤一誠氏プロデュースによる「Age Free Music, Music Concert Vol.3」ご招待ほかの豪華なプレゼントが抽選で当たります。

また、今回はキャンペーンにあわせて2タイトルのコンピレーション盤（『熟恋歌～Sentimental～』、『熟恋歌～Romantic～』／選曲・監修：富澤一誠氏）を6月8日に発売します。



- 実施期間：2011年5月11日（水）～2011年7月31日（日）
- キャンペーンタイトル数：56タイトル+ゴールデンベストシリーズ55タイトル
- キャンペーン内容：

期間中に対象商品を購入し、対象商品貼付シールを応募すると抽選で豪華商品をプレゼント
特別賞：富澤一誠氏プロデュース「Age Free Music, Music Concert Vol.3」ご招待
（2011年9月末開催予定）

A賞：湯本富士屋ホテル ペア宿泊券 10組20名様
B賞：アコースティックギター 5名様

- プレゼント応募期間：2011年5月11日（水）～2011年8月31日（水）
- 参加会員社：

日本コロムビア、ビクターエンタテインメント、キングレコード、テイチクエンタテインメント、ユニバーサルミュージック、EMIミュージック・ジャパン、日本クラウン、徳間ジャパンコミュニケーションズ、ポニーキャニオン、ワーナーミュージック・ジャパン、パップ、エイベックス・マーケティング、フォーライフミュージックエンタテイメント、ヤマハミュージックコミュニケーションズ、ドリーミュージック、ソニー・ミュージックディストリビューション（16社）

- キャンペーンサイト：URL：<http://www.universal-music.co.jp/otonaongaku/>

著作権啓発キャンペーン LOVE MUSIC サイトにて「著作権法 30 条 読上げコンテスト」実施

当協会では、大切な音楽を未来に残し新しい音楽や才能を創出し続ける環境を維持するための著作権啓発活動として、2010年12月からキャンペーン「LOVE MUSIC」を継続して行っていますが、このたび、当キャンペーンの企画として、2010年1月に施行された改正著作権法の30条1項3号「違法配信からの音楽・映像のダウンロード違法化」の周知と違法な音楽配信の利用の減少を目的として「著作権法30条 読上げコンテスト」をキャンペーン特設ウェブサイトにて実施します。

このコンテストは、一般の皆様が著作権法30条1項3号の該当部分をアニメキャラクター風、実況中継アナウンサー風など“個性豊かに”読み、その模様をビデオカメラ、携帯などで撮影して映像をご応募いただけます。応募された映像は当協会会員社4社のアニメーション担当ディレクターをメンバーに含む審査委員会で10名に選定され、選ばれた10名の映像をキャンペーンサイトで公開し、一般の方からの投票によって最優秀者を決定します。(応募締切り:6月24日)

さらに、連動企画として各方面でご活躍の著名人5名の方にも同様に読上げていただき、その声を順次掲載していきます。第一弾として、戦場カメラマンの渡部陽一さんが読む著作権法30条をキャンペーンサイトでお聴きいただけます。

当協会事務所移転について

当協会は、下記の通り事務所を移転し、2011年7月4日(月)より業務を開始することとなりましたので、お知らせ致します。

■新住所

〒105-0001 東京都港区虎ノ門2-2-5
共同通信会館9階

■電話・FAX 番号 (代表)

TEL:03-5575-1301
FAX:03-5575-1313

※電話・FAX番号も変更となります。

■業務開始日

2011年7月4日(月)

●●●当協会役員人事●●●

■再任・新任(5月27日付)

【会長】

北川 直樹(新任)

株式会社ソニー・ミュージックエンタテインメント
代表取締役コーポレート・エグゼクティブCEO

【副会長】

稲垣 博司

エイベックス・マーケティング株式会社
代表取締役会長

齊藤 正明

ビクターエンタテインメント株式会社
代表取締役社長

市井 三衛(新任)

株式会社EMIミュージック・ジャパン
代表取締役社長兼CEO

小池 一彦(新任)

ユニバーサル ミュージック合同会社
最高経営責任者兼社長

【常勤理事】

【専務理事】

田口 幸太郎(昇任)

一般社団法人日本レコード協会

【常務理事・事務局長】

高杉 健二(昇任)

一般社団法人日本レコード協会

【理事】

畑 陽一郎(新任)

一般社団法人日本レコード協会

【顧問】

依田 巽

株式会社ドリーミュージック
代表取締役会長

佐藤 修

株式会社ポニーキャニオン
取締役会長

石坂 敬一(新任)

ユニバーサル ミュージック合同会社
相談役

■退任(5月27日付)

【会長】

石坂 敬一

ユニバーサル ミュージック合同会社
相談役

【専務理事】

水村 雅博

一般社団法人日本レコード協会

【監事】

長谷川 彰介

株式会社ヤマハミュージックコミュニケーションズ
代表取締役社長

●●●当協会事務局人事●●●

■昇格・異動(6月1日付)

庄司 恵人

広報部部長兼企画部部長(前:広報部部長)

須貝 あゆみ

管理部部長兼情報・技術グループ担当部長
(前:企画部副部長)

飛世 麻紀

法務部課長補佐(前:法務部係長)

田中 浩子

情報・技術グループ係長
(前:管理部情報・技術グループ)

三浦 玲奈

企画部係長(前:企画部)

RIAJ2011年5月度理事会・総会議案

第441回理事会議案

■審議事項

1. 平成22年度事業報告書(案)承認の件
2. 平成22年度決算報告書(案)承認の件

■名義使用申請に関する報告

1. 「第24回日本民謡フェスティバル2011」協賛名義使用依頼について

■報告事項

1. 法制委員会関係報告
(1) 動画ダウンロード支援サイトへの対応について
(2) 知財戦略本部「コンテンツ強化専門調査会」報告
(3) 総務省プロバイダ責任制限法検証WG報告
2. マーケティング委員会関係報告
(1) 大人の音楽キャンペーン第6弾開始について
3. その他報告
(1) 「東日本大震災被災者支援コンサート」について
(2) 日本プロスポーツ協会への寄付の件

定時総会議案

■審議事項

1. 平成22年度事業報告書(案)承認の件
2. 平成22年度決算報告書(案)承認の件

■報告事項

1. 事務所移転の件

第442回理事会議案

■審議事項

1. 会長選任の件
2. 副会長選任の件
3. 常勤役員および事務局長選任の件
4. 顧問委嘱の件
5. 委員会体制の件

平成22年度事業報告

平成22年のレコード等の生産・販売実績は、長引く経済不況の影響などにより、一昨年に続き前年を下回る結果となった。また、レコード産業成長の最大の阻害要因であるインターネット上の違法音楽配信や動画共有サイトからの不正ダウンロードの蔓延等の影響を受け、有料音楽配信実績が前年割れするなど、レコード製作者を取り巻く環境はますます厳しい状況となっている。

平成22年度、当協会は、攻めと守りの両面でより一層実効性のある対策を講じることを打ち出し、8項目の重点施策（①「違法音楽配信の撲滅」、②「需要拡大施策の展開」、③「レコード製作者の権利収入の拡大と適正な分配」、④「レコード製作者の権利の確保、強化」、⑤「シェアードサービスの拡大」、⑥「著作権教育・啓発活動の充実」、⑦「シンクタンク機能の充実」及び⑧「音楽文化の維持、発展のための施策」）を中心に以下の事業を推進した。

事業活動

[1]レコードの普及に関すること

1. 音楽CD再販制度の維持

(1) 会員各社の再販弾力運用の取組みを報告書にとりまとめ、3月に公正取引委員会へ提出するとともに、当協会ホームページで公表した。

(2) ユーザーサービスの一環として実施しているインターネット廃盤セールを、1月14日から1月28日の間実施した。

2. 「CDショップ大賞」の充実・強化

1月20日に渋谷WWWで第3回授賞式を開催した「CDショップ大賞」について、店頭展開及び広報展開の支援を行った。授賞式はインターネット上で生中継したほか、主要なテレビ・ラジオ番組でも取り上げられ、顕彰の認知拡大と店頭における受賞作品の売上増に一定の効果があった。

3. 「日本ゴールドディスク大賞」の実施

「日本ゴールドディスク大賞」は大幅な見直しを行い、発表を1月5日に繰り上げ、ホテルニューオータニで記者発表方式にて授賞式を開催した。出席アーティスト数は前年の6組から9組に増加し、授賞式の模様等は184の媒体で取り上げられ、広告費に換算すると6億8,430万円の効果となった。

4. 「着うたフル®」ウィークリーチャートの活用

平成21年4月から公表を開始した「着うたフル®」ウィークリーチャートの活用を促進するため、平成22年の年間チャートを集計し、12月に公表した。同チャートのランキングは、地上波民放テレビや衛星テレビの番組、携帯電話向けサイトなどで紹介されている。また、集計対象の協力配信事業者は17社まで拡大した。

5. 音楽配信実績等の業務の集約化

音楽配信に係る業務の集約等のニーズ把握と課題整理を平成23年度に実施する。

6. 日本音楽の海外展開の促進

(1) 音楽産業・文化振興財団(PROMIC)主催の「東京国際ミュージックマーケット」(TIMM)に参画し、12ヶ

国から74名(欧米39名、アジア35名)のバイヤーを招聘した。商談会には日本側の35社・団体のほか、海外から6社・団体がブースを設置して参加した。また、TIFFCOM(映像関係の商談会)との連携では、TPG(映像コンテンツの国際共同製作の企画を推進する商談会)に日本のレコード会社も参加し、日本音楽とのマッチングを図った。3月末調査時点の成約件数は、CDパッケージ149件、配信10,743件、ライブ出演173件の実績(前回はCDパッケージ247件、配信10,500件、ライブ出演29件)となり、また、今回初めて16,000件の著作権契約を獲得した。

(2) 中国国家版權局及び世界知的所有権機関(WIPO)共催の「北京国際版權博覧会及びフォーラム」(11月18日~21日)に参加。また、国際レコード産業連盟(IFPI)とコンテンツ海外流通促進機構(CODA)が国家版權局員、公安局員、検察官、裁判官等を対象として実施した「対中国トレーニングセミナー」(計3回)に参加し、ネットワーク上の音楽に関する著作権侵害の現状と対策について講演した。

(3) 中国における日本音楽の携帯電話向け配信の実現に向け、中国の大手キャリアにアプローチした。

7. 大学寄附講座の開設

立教大学で秋学期講座を開講した。11月には全学部を対象とした公開シンポジウムを実施し、レコード会社プロデューサーが多数の学生に対して音楽の魅力を語った。平成23年度には横浜国立大学で開設すべく実施について調整した。

8. RIAJセミナー

会員社を対象に8回開催した。

9. その他

“Music J-CIS”(Music Japan-Copyright Information Service)の構成団体として活動を行った。音楽権利情報データベースを充実させるため、平成22年度発売新譜等の楽曲情報取り込みを実施した。その結果、平成22年度末時点での収録楽曲総件数は約387万件まで拡大した(前期末約368万件)。

[2] レコードに関する調査研究および資料の蒐集に関すること

1. 市場調査、産業統計の充実

音楽パッケージソフトの月別生産実績、並びに四半期毎の音楽配信売上実績を集計し公開した。

2. 音楽に関する消費者実態調査の実施

インターネットメディアの利用実態と音楽購入に与える影響・効果を把握するため、「2010年度音楽メディアユーザー実態調査」を実施し、報告会を開催するとともに当協会ホームページ上で公開した。

[3] 録音による芸術文化の保存に関すること

1. 歴史的音源のアーカイブ事業の推進

平成23年度に予定される国立国会図書館のデジタルアーカイブ公開に向け、歴史的音盤アーカイブ推進協議会(HIRAC)を中心にSP盤等の音源デジタル化作業を進めた。平成21年度から24年度までの4年間で国立国会図書館に納入予定の約51,000音源のうち、約26,000音源を平成22年度末までに納品した。

2. 「文化庁芸術祭」への協力

「第65回文化庁芸術祭」のレコード部門申請窓口として60作品を参加申請し、参加が承認された30作品の中から芸術祭大賞1作品、優秀賞3作品が選出された。

3. 「日本プロ音楽録音賞」の共催

優秀な音楽録音作品を選定し、その録音エンジニアを顕彰する「日本プロ音楽録音賞」を、当協会が(社)日本音楽スタジオ協会、日本ミキサー協会、(社)日本オーディオ協会、演奏家権利処理合同機構Music People's Nestと共催し、12月6日に第17回授賞式を開催した。

[4] 著作権・著作隣接権に関すること

1. 違法音楽配信の探索、削除要請の強化

(1) 携帯電話向けサイト、動画投稿サイト、ストレージサービスなどに対する年間の削除要請件数は約24万件に増加した(前年度8万件)。

(2) 削除要請に応じない中国の動画投稿サイト事業者に対して、コンテンツ海外流通促進機構(CODA)を通じて申し入れを行い、数社の事業者が対応を開始した。

(3) 違法サイトの運営者やアップローダーに対する7件の刑事事件を取扱った(昨年実績5件)。パッケージ海賊版を含む年間の刑事事件取扱いは計25件となった。

(4) 「ファイル共有ソフトを悪用した著作権侵害対策協議会」が実施するプロバイダを通じた違法ユーザーへの警告スキームに当協会も参加し、約1,700件の啓発メールを送付した。

(5) ファイル共有ソフトを悪用した違法ユーザーについて、会員社代理人からの呼び出しに応じなかった1名に対し、会員社4社が損害賠償請求の訴えを東京地裁に提起し、7月に会員社勝訴の判決を得た。また、会員社9社が新たな発信者情報開示請求(計31名、プロバイダ9社)を3回にわたって実施し、このうち、非開示のプロバイダ1社に対して提起した開示請求訴訟は3月に会員社勝訴の判決を得た。

2. 違法音楽配信の利用を防止する技術的対策の実現

(1) 「違法音楽配信対策協議会」(CAMP)において、携帯キャリアや携帯端末メーカーらと携帯端末に対する技術的対策の検討を実施した。多様な課題について検討を継続中。

(2) 携帯電話フィルタリングの水準向上に関する総務省調査研究事業を受託し、アクセス制限サイトを対象としたクロール・システムを携帯キャリアの協力により開発した。実証実験の結果、従来システムを上回る違法ファイル収集効果が確認できた。

(3) 検索エンジン非表示対応について、大手検索事業者に検討を依頼した。

3. 「プロバイダ責任制限法」の見直し

知的財産戦略推進事務局に対して、「プロバイダに対する侵害防止措置の義務付け」「発信者情報開示請求手続の改善」「悪質な違法行為者に係るインターネット接続のアカウント停止措置等の導入」の3点を要望する意見書を提出し、「知的財産推進計画2010」において、「現行のプロバイダ責任制限法の検証を図った上で、実効性を担保するための制度改正の必要性について検討し、2010年度中に結論を得る。」と盛り込まれた。これを受けて総務省が設置した「プロバイダ責任制限法検証WG」の報告書案(本年4月とりまとめ)で、「発信者情報開示請求手続の改善」は、運用上のルールを定めたガイドラインを改訂し、実情に合わせた適切な運用を図ることが望ましいとの結論を得た。

4. 「違法配信からのダウンロード違法化」啓発キャンペーンの継続

(1) 特設ウェブサイトを中心とする違法音楽配信撲滅キャンペーン「LOVE MUSIC」を12月から開始した。当該サイトでは、著名人からの「私の大切な1枚」の寄稿や、レコード会社関係者が出演する番組のインターネット中継等により、音楽の大切さや音楽創造サイクルの重要性をユーザーに訴えかけた。

(2) 若年層への著作権啓発を目的とした「守ろう大切な音楽を」キャンペーン2010を7月から実施した。第2回目となる本年度は、参加対象を小学生から大学生までに拡大してポスターやキャラクターデザインを応募し、優秀作品を12月に発表した。

(3) 中高生の体験学習の一環として会員社に依頼がある職場訪問について、当協会による訪問先斡旋も含めた本年度の生徒受け入れ実績は6,427名（前年度訪問生徒数4,778名）となり、著作権啓発機会を拡大した。

(4) 著作権啓発やCD試聴体験等のイベント共同実施を関係団体に提案し、平成23年度の実施に向けた検討を行った。

5. 「権利制限への一般規定」の導入阻止に向けた活動
文化庁著作権分科会法制問題小委員会において、導入の必要性やベルヌ条約等が定めるスリーステップテストとの関係について十分な検討が必要とする意見を表明した。最終的に、権利制限の対象を3つの利用形態の類型とする一般規定の導入が12月開催の著作権分科会において承認された。

6. 「私的録音録画補償金制度」の存続を求める活動
平成21年11月に私的録音録画補償金管理協会（SARVH）がアナログチューナー非搭載のDVD機器を販売する東芝を東京地裁に提訴した事件について、平成22年12月、SARVHの請求を棄却する判決が出され、SARVHは即時控訴した。当協会は、SARVHの構成団体として本件訴訟において必要な支援を行った。また、他の権利者団体とともに新たな補償金制度について検討を開始した。

7. 「レコード演奏権」の創設に向けた活動
平成21年11月から立法化に向けた合同研究会を実演家の団体と月次開催し、法的な研究と徴収体制等の検討を行った。また、行政等への働きかけとして、「知的財産推進計画2011」策定に当たっての当協会意見書を提出し、導入を要望した。

8. 「レコード保護期間」の延長に向けた活動
「知的財産推進計画2011」策定に当たっての当協会意見書を提出し、延長を要望した。

[5] レコードに関する出版物の刊行等

1. 出版物の刊行

月刊機関誌「THE RECORD」を発行し、会員社、関係団体、官公庁、マスメディア、業界関係者などに配布した。また、日本のレコード産業の年間統計資料集として「日本のレコード産業2011」を和文、英文で発行した。これらは当協会ホームページ上でも公開した。

2. ホームページの運営

当協会サイトについて、利便性とイメージの向上を図るため、4月からトップページを全面的に刷新した。

[6] レコード製作者に係る商業用レコードの二次使用料に関する権利行使の受任、総額の取り決めならびに徴収及び分配

1. 二次使用料収入確保のための検討

- (1) 日本民間放送連盟との間で、過去分を含む平成21～24年度の使用料について4年契約が成立した。
- (2) 徴収額の合計は56億1,700万円(前年度比1.1%増)、権利者分配額は49億8,000万円（前年度比1.2%増）となった。

2. 送信可能化権に関する権利委任範囲の見直し

- (1) 有線・衛星ラジオ番組の業務店向けBGM配信を集中管理事業の範囲に追加した。
- (2) 民放テレビキー局の番組配信サービスや民放ラジオ番組の同時送信サービスに対して、集中管理による許諾を行った。

3. 二次使用料実績分配の運用開始

- (1) 平成23年度以降の使用料を放送実績に基づき分配するため、分配規程類を改定した。
- (2) 平成22年4月放送分以降の全曲・電子的報告の受付を開始し、年度末までに43局が全曲・電子的報告を開始した。
- (3) 実績分配システムの開発を年度内に完了した。また、放送局から受領した放送実績データの照合作業を9月から開始した。
- (4) 実績分配のキーコードとなるISRCの精度向上について、各社で誤付番を確認・修正し、確認未了のISRCは残り1%（約1万5,000件）となった。

[7] レコード製作者に係る商業用レコードの公衆への貸与に係る報酬等に関する権利行使の受任、金額の取り決めならびに徴収及び分配

- (1) 徴収額は34億3,300万円（前年度比5.7%減）、権利者分配額は30億5,300万円（前年度比6.0%減）となった。
- (2) 使用料等の分配方法変更に関する関連団体との協議を推進した。合意された新たな分配方法の実施と会員社における業務負担軽減のため、新分配システムの開発に着手した。

[8] 私的録音録画補償金に関する権利行使団体の構成員としての業務ならびにレコード製作者に係る当該補償金の分配

1. 私的録音補償金

私的録音補償金管理協会 (sarah) から8,800万円 (前年度比31.7%減) を受領し、7,000万円 (前年度比32.0%減) を権利者に分配した。

2. 私的録画補償金

私的録画補償金管理協会 (SARVH) から5,800万円 (前年度比34.8%増) を受領し、4,700万円 (前年度比34.2%増) を権利者に分配した。

[9] その他

1. 政府の審議会等への委員派遣および経済団体への参画等
文化審議会著作権分科会等へ委員を派遣するなど、外部の会議体等に積極的に参画し、意見の表明を行った。

2. 国内・国外の団体、機関との連携活動

国内の音楽関係団体並びに国際レコード産業連盟 (IFPI) 及びアメリカレコード協会 (RIAA) 等海外のレコード産業団体との連携と情報交換を実施した。

3. レコード倫理審査会の開催

月次会議にて会員社から発売される全邦楽作品9,938点について審査を行った。

4. 業界規格の制定と改正

日本レコード協会規格 (RIS) に準ずる運用基準として「ブルーレイ・ディスク™の表示に関する運用基準」を策定し、11月に発行した。

5. “ISRC” (International Standard Recording Code) の管理機関としての活動

登録者コードの新規発行件数94件 (前年度132件)、個別コードの発行曲数は16,806曲 (前年度15,284曲) であり、3月末の累計数は登録者コード1,420件、個別コード63,981曲となった。

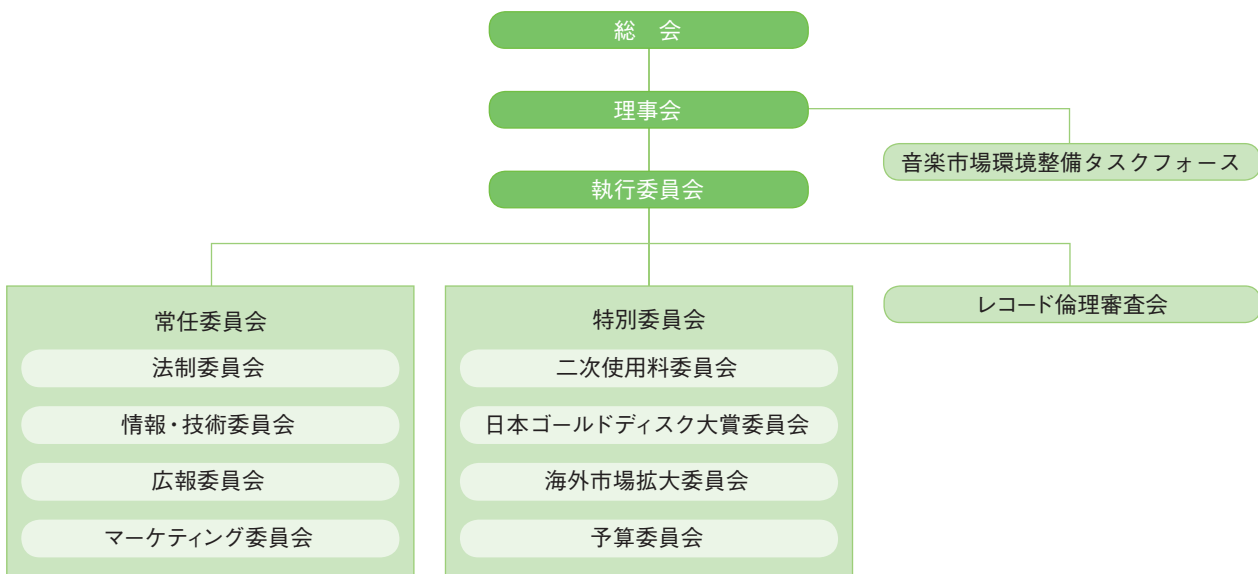
6. 福祉・厚生施設へのレコード寄贈

今年度 (第48回) は、8,430枚の音楽CDを540の福祉施設へ寄贈した。

以上

運営体制

平成22年度末における当協会の運営体制は次の通りである。



以上

2010年世界の音楽産業

IFPI（国際レコード産業連盟）は、年次レポートの「Recording Industry In Numbers 2011」を発行した。2010年の世界の音楽産業の動向をダイジェストで紹介する。

世界音楽売上実績

2010年の世界音楽売上高は、159億ドルであり、前年比8.4%減となった。特に、パッケージ売上は世界全体で14.2%減少し、他のメディアの売上では、その減少をまかなうことはできなかった。音楽配信売上は前年から5.3%増加して46億ドルに達し、世界音楽売上高に占める割合は前年の25%から29%に拡大した。従来の音楽配信売上の継続的な伸び、サブスクリプション（定額制）収入の増加が売上の伸長を牽引した。その一方で、多くの市場でモバイル分野は低迷を続け、特にアメリカと日本の音楽配信売上の伸長に影響を及ぼした。また、レコード会社の権利収入は前年比4.6%増の8億5,100万ドルとなり、世界音楽売上高に占めるシェアは5%となった。なお、小売ベースでは、2010年の世界音楽市場は推定243億ドルの規模となっている。

2010年の音楽市場の動向は、国や地域によってはっきりと明暗が分かれた。韓国（前年比11.7%増）、インド（前年比16.5%増）、メキシコ（前年比0.9%増）など、全11市場で売上が伸びた一方で、アメリカと日本の市場の落ち込みは2010年の世界音楽売上高減少の57%を占めた。またドイツはパッケージ売上の安定によって、音楽総売上では減少したものの、イギリスを抜いて世界3位の音楽市場となった。イギリスとオーストラリアはいずれも2009年に音楽売上が増加したが、2010年は減少し、フランスは2009年に

引き続き2010年もやや減少した。スペインは市場の低迷と違法コピーの横行が何年も続いたことにより、売上高トップ10から姿を消した。

レコード会社の権利収入については、依然として欧州が最も大きいものの、最も伸びたのはアメリカ（前年比27.9%増）とインド（前年比53.3%増）であり、権利収入はドイツでも前年比18.5%増と大きな伸び率を示した。ラテンアメリカは世界の権利収入に占める割合こそ4%と比較的小さいものの、伸び率は前年比26.1%増であった。

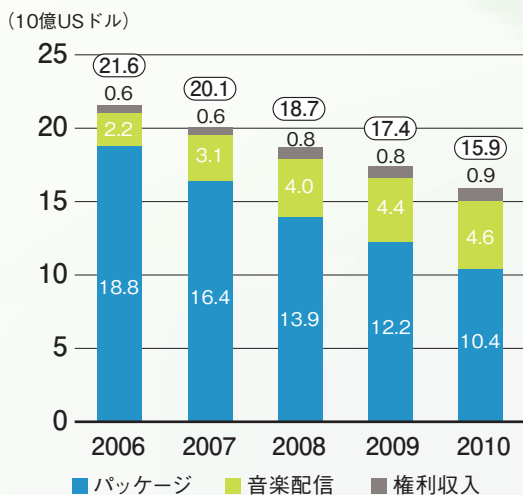
● メディア別売上金額（レコード会社収入ベース）

金額：百万 US ドル

	2009年	2010年	前年比
パッケージ	12,166	10,440	▲ 14.2%
音楽配信	4,407	4,643	5.3%
権利収入	813	851	4.6%
合計	17,386	15,933	▲ 8.4%

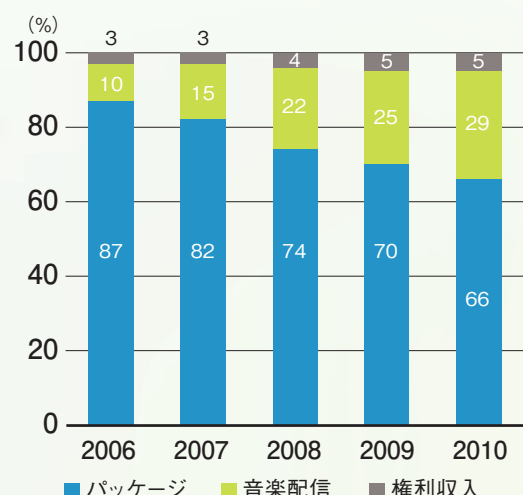
出典：IFPI 「Recording Industry In Numbers 2011」

● 世界音楽売上一金額の推移（レコード会社収入ベース）



出典：IFPI 「Recording Industry In Numbers 2011」

● 世界音楽売上一メディア別割合の推移



出典：IFPI 「Recording Industry In Numbers 2011」

● 2010年 総売上上位20カ国

金額：百万USドル

	金額	前年比	シェア	パッケージ	音楽配信	権利収入
1 アメリカ	4,168	▲ 10%	26%	2,049	2,029	90
2 日本	3,959	▲ 8%	25%	2,885	979	94
3 ドイツ	1,412	▲ 4%	9%	1,143	178	91
4 イギリス	1,379	▲ 11%	9%	920	347	111
5 フランス	866	▲ 5%	5%	641	146	78
6 カナダ	394	▲ 14%	2%	262	114	19
7 オーストラリア	393	▲ 12%	2%	267	107	19
8 オランダ	261	▲ 3%	2%	184	21	56
9 イタリア	237	▲ 2%	1%	178	36	23
10 ブラジル	229	▲ 1%	1%	173	38	18
11 スペイン	187	▲ 21%	1%	122	37	28
12 韓国	178	12%	1%	81	98	-
13 スイス	162	▲ 13%	1%	129	26	8
14 インド	159	17%	1%	65	54	40
15 ベルギー	150	▲ 7%	1%	118	14	18
16 スウェーデン	136	▲ 7%	1%	83	38	16
17 メキシコ	130	1%	1%	100	29	2
18 南アフリカ	124	▲ 7%	1%	115	6	3
19 オーストリア	123	▲ 12%	1%	93	17	13
20 ノルウェー	106	▲ 8%	1%	69	26	11
その他	1,180	▲ 8%	7%	763	303	113
合計	15,933	▲ 8%	100%	10,440	4,643	851

出典：IFPI 「Recording Industry In Numbers 2011」

音楽配信と違法配信が産業に及ぼす影響

消費者は新しいデバイスを取り入れ、柔軟に対応し、エンターテインメントをかわるがわる楽しんでいる。音楽配信も急速に進化しており、レコード会社では販売戦略の抜本的な見直しを行なっている。これまでも、急速に変化する消費者のニーズに対応するため、継続的に音楽配信のサービスの改善が行なわれ、違法配信が横行する中、数十億ドル規模の事業に育ててきた。2010年には、ソーシャルネットワーク機能と推奨エンジンなどを用いて、消費者が新しい音楽を見つけやすくする新しい手法が本格的に展開されてきた。

また、音楽のリリース方法にも大きな変化があった。これまで、レコード会社はアルバムのプロモーション活動の一つとして、発売数週間前に音源を放送各局に提供することによって、消費者の興味を引き、発売時にチャート上位にランクインさせ

てきた。しかし2011年、イギリスでは、ソニー・ミュージックとユニバーサル・ミュージックがこの方法を変え、新たに「オンエアと同時のリリース」を実施することを発表した。これにより、音楽ファンはプロモーションとしてオンエアされた同じタイミングで音楽を購入することができる。

一方、違法配信は、さまざまなコンテンツ産業の成長に深刻な影響を及ぼしており、音楽は最初にその被害を受けたコンテンツである。しかし、現在は、映画、ゲーム、書籍、新聞などの他の分野も影響を受けている。フロンティア・エコノミクス社の2008年のデータに基づく試算では、偽造や違法配信の経済的打撃は6,500億ドルに上る。この額は2015年までに1兆8,000億ドルに達する見通しである。

アジア市場

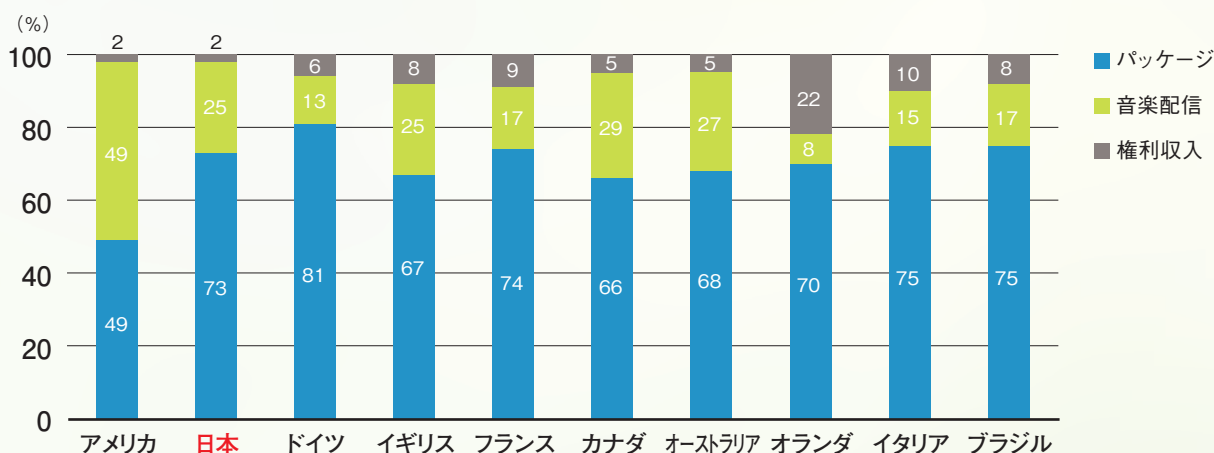
アジアでは、日本が昨年に引き続き落ち込んだが、インド、韓国などの市場では売上が好調に伸びた。

日本では音楽売上全体が前年から8.3%減少したが、パッケージ市場の落ち込みの主因は、洋楽売上の低迷だった。日本のパッケージ市場に占める邦楽売上の割合は81%であり、中高年齢層向けのCDシングルやアルバムの売上は好調だった。

インターネット上の違法音楽配信が急増したことで、日本の音楽配信市場は発展を阻害されており、2010年、音楽配信売上は全体で減少したものの、「Ringback tunes」は成長を続けた。

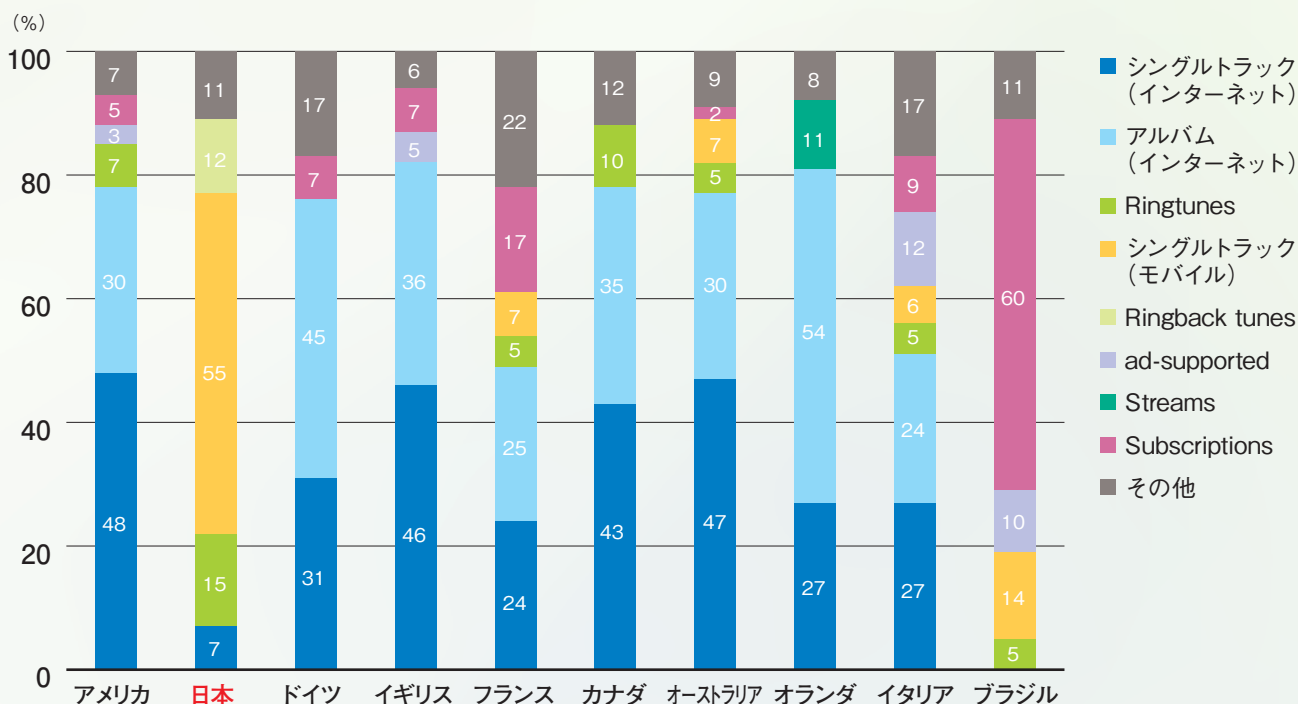
韓国は、違法行為撲滅のために、3ストライク法の導入や、その他法的環境の改善などによって、2010年の音楽売上高は前年比11.7%増と、2009年の10.4%増から引き続き成長した。

● 音楽売上上位 10 カ国—メディア別割合



出典：IFPI 「Recording Industry In Numbers 2011」

● 音楽配信売上上位10カ国—フォーマット別割合



出典：IFPI 「Recording Industry In Numbers 2011」

2011年第1四半期有料音楽配信売上実績

2011年第1四半期は、数量で前年同期比91%の1億177万ダウンロード、金額で前年同期比88%の193億3,700万円となった。
 内訳では、インターネット・ダウンロードが、数量で前年同期比122%の1,449万ダウンロード、金額で前年同期比108%の28億7,600万円、
 モバイルが、数量で前年同期比86%の8,587万ダウンロード、金額で前年同期比85%の162億2,600万円となった。

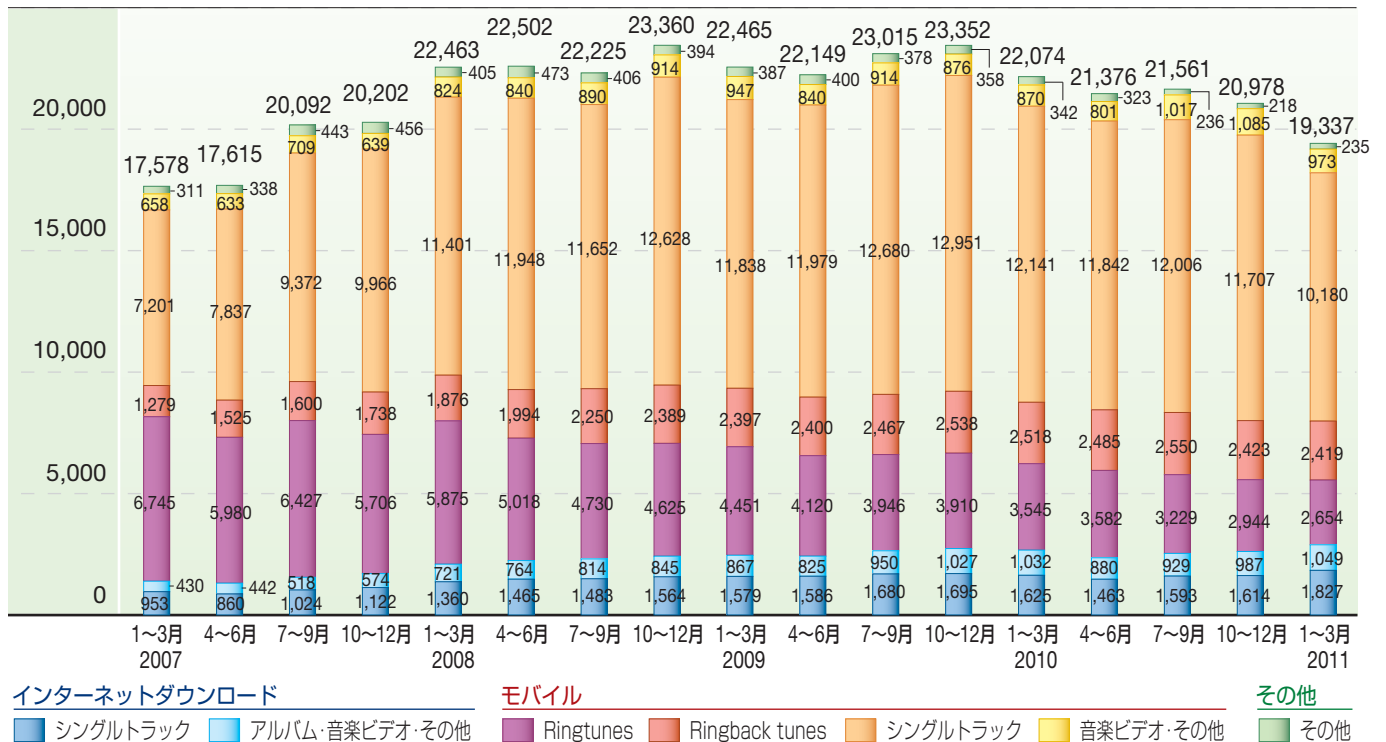
(数量：千回/金額：百万円)

形態	2011年1月～2011年3月 累計				
	数量	前年同期比	金額	前年同期比	
インターネットダウンロード	シングルトラック	13,023	122%	1,827	112%
	アルバム	789	113%	874	99%
	小計 (オーディオダウンロード分)	13,812	121%	2,701	108%
	音楽ビデオ	675	148%	175	121%
	その他	0	5400%	0	-
合計	14,487	122%	2,876	108%	
モバイル	Ringtunes	26,299	76%	2,654	75%
	Ringback tunes	27,771	97%	2,419	96%
	シングルトラック	29,461	84%	10,180	84%
	音楽ビデオ	1,720	90%	689	100%
	その他	615	333%	284	156%
	合計	85,865	86%	16,226	85%
その他	サブスクリプション (インターネット)			74	50%
	サブスクリプション (モバイル)			79	88%
	その他 (その他のデジタル音楽コンテンツ)	1,419	2410%	82	79%
総合計	101,772	91%	19,337	88%	

注：数量・・・ダウンロード回数

● 有料音楽配信四半期毎金額推移

単位：百万円



Monthly Production Report

2011年4月度レコード生産実績

4月度の音楽ソフト（オーディオレコード・音楽ビデオの合計）生産実績は、数量で前年同月比90%の1,711万枚・巻、金額で同99%の206億円となった。

内訳は、オーディオレコードが、数量で前年同月比91%の1,374万枚・巻、金額で同98%の154億円、音楽ビデオが、数量で前年同月比86%の337万枚・巻、金額で同100%の52億円となった。

● オーディオレコード

(数量:千枚・巻/金額:百万円)

		4月実績						2011年1月～2011年4月累計						
		数量	構成比	前年同月比	金額	構成比	前年同月比	数量	構成比	前年同期比	金額	構成比	前年同期比	
シ	8cmCD	邦	5	0	90%	3	0	109%	14	0	67%	9	0	86%
		洋	0	0	-	0	0	-	-10	-	-	-1	-	-
		計	5	0	92%	3	0	112%	4	0	18%	8	0	75%
ン	12cmCD	邦	4,171	30	107%	3,193	21	119%	16,398	27	124%	11,414	17	120%
		洋	160	1	609%	80	1	389%	555	1	1225%	367	1	993%
		計	4,331	32	110%	3,273	21	121%	16,953	28	128%	11,781	18	124%
ル	小計	邦	4,175	30	107%	3,196	21	119%	16,412	27	124%	11,423	17	120%
		洋	160	1	609%	80	1	390%	545	1	1198%	366	1	986%
		計	4,335	32	110%	3,276	21	121%	16,957	28	127%	11,789	18	124%
12cmCD アルバム	邦	6,499	47	84%	8,996	58	91%	30,777	51	82%	41,505	63	87%	
	洋	2,686	20	86%	2,918	19	104%	11,050	18	92%	11,134	17	94%	
	計	9,185	67	84%	11,914	77	94%	41,827	70	84%	52,639	80	89%	
CD 合計	邦	10,674	78	91%	12,192	79	97%	47,188	79	93%	52,928	81	93%	
	洋	2,846	21	90%	2,998	19	106%	11,595	19	97%	11,499	18	97%	
	計	13,520	98	91%	15,190	99	99%	58,784	98	93%	64,428	99	93%	
アナログ ディスク	邦	0	0	6%	1	0	5%	33	0	156%	46	0	115%	
	洋	15	0	5683%	37	0	8284%	21	0	605%	44	0	715%	
	計	16	0	243%	37	0	290%	54	0	221%	91	0	194%	
カセット テープ	邦	136	1	55%	111	1	56%	777	1	72%	598	1	69%	
	洋	0	0	-	0	0	-	0	0	0%	0	0	0%	
	計	136	1	55%	111	1	56%	777	1	72%	598	1	69%	
その他	邦	19	0	136%	29	0	210%	45	0	86%	55	0	115%	
	洋	53	0	194%	37	0	133%	139	0	208%	224	0	260%	
	計	72	1	174%	66	0	159%	184	0	154%	279	0	208%	
合計	邦	10,829	79	91%	12,332	80	96%	48,043	80	92%	53,627	82	92%	
	洋	2,915	21	91%	3,072	20	108%	11,756	20	97%	11,768	18	98%	
	計	13,744	100	91%	15,405	100	98%	59,799	100	93%	65,395	100	93%	

● 音楽ビデオ

		4月実績						2011年1月～2011年4月累計					
		数量	構成比	前年同月比	金額	構成比	前年同月比	数量	構成比	前年同期比	金額	構成比	前年同期比
DVD	邦	3,002	89	88%	4,356	84	93%	14,956	88	108%	19,826	86	120%
	洋	226	7	51%	284	5	72%	1,761	10	131%	2,145	9	168%
	計	3,227	96	84%	4,639	89	92%	16,717	98	110%	21,972	95	124%
テープ・その他		140	4	424%	557	11	425%	296	2	259%	1,156	5	289%
合計	邦	3,134	93	91%	4,895	94	104%	15,221	89	109%	20,889	90	125%
	洋	233	7	50%	302	6	61%	1,791	11	129%	2,239	10	157%
	計	3,367	100	86%	5,197	100	100%	17,012	100	111%	23,128	100	127%

● 音楽ソフト（オーディオ/音楽ビデオ合計）

	4月実績						2011年1月～2011年4月累計					
	数量	構成比	前年同月比	金額	構成比	前年同月比	数量	構成比	前年同期比	金額	構成比	前年同期比
オーディオ	13,744	80	91%	15,405	75	98%	59,799	78	93%	65,395	74	93%
音楽ビデオ	3,367	20	86%	5,197	25	100%	17,012	22	111%	23,128	26	127%
合計	17,111	100	90%	20,601	100	99%	76,811	100	97%	88,523	100	100%

● ビデオ（含音楽ビデオ）

	4月実績						2011年1月～2011年4月累計					
	数量	構成比	前年同月比	金額	構成比	前年同月比	数量	構成比	前年同期比	金額	構成比	前年同期比
DVD	7,895	89	109%	13,958	83	118%	35,156	92	119%	55,666	85	113%
テープ・その他	993	11	215%	2,779	17	168%	3,264	8	172%	10,157	15	153%
合計	8,889	100	115%	16,737	100	124%	38,419	100	122%	65,823	100	118%

● オーディオ/ビデオ合計

	4月実績						2011年1月～2011年4月累計					
	数量	構成比	前年同月比	金額	構成比	前年同月比	数量	構成比	前年同期比	金額	構成比	前年同期比
オーディオ	13,744	61	91%	15,405	48	98%	59,799	61	93%	65,395	50	93%
ビデオ	8,889	39	115%	16,737	52	124%	38,419	39	122%	65,823	50	118%
合計	22,632	100	99%	32,142	100	110%	98,218	100	103%	131,218	100	104%

備考 1.本年実績は、会員会社の集計である。当会員社が受託した非会員社からの販売委託分を含む。
2.単位未満四捨五入により、内訳と合計が一致しない場合がある。
※オーディオレコードのその他は SACD、DVD オーディオ、DVD ミュージック、MDの合計。

音楽ソフト

邦楽

アルバム

● プラチナ

ケツノポリス7 VOCALIST & BALLADE BEST	ケツメイシ 徳永 英明	2011.03.16 2011.04.26	TF UM
------------------------------------	----------------	--------------------------	----------

● ゴールド

どーも Road Show	小田 和正 松任谷 由実	2011.04.20 2011.04.06	BV EMI
------------------	-----------------	--------------------------	-----------

シングル

● プラチナ

T.W.L / イエローバンジーストリート	関ジャニ∞	2011.04.20	TE
-----------------------	-------	------------	----

● ゴールド

MR.TAXI / Run Devil Run	少女時代	2011.04.27	UM
Let me cry	チャン・グンソク	2011.04.27	PC
縁を結いて	堂本 剛	2011.04.06	JE
さよなら傷だらけの日々よ	B'z	2011.04.13	BG

ビデオ

● ゴールド

KANJANI∞LIVE TOUR 2010→2011 8UPPERS	関ジャニ∞	2011.04.13	TE
-------------------------------------	-------	------------	----

洋楽

アルバム

● ゴールド

ハンズ・オール・オーバー ラウド	マルーン5 リアーナ	2010.09.15 2011.01.19	UM UM
---------------------	---------------	--------------------------	----------

シングル

● ゴールド

ジェットコースターラブ	KARA	2011.04.06	UM
-------------	------	------------	----

※日付は発売日

認定基準一覧

音楽ソフト(邦・洋、アルバム・シングル・音楽ビデオ)、音楽配信(着うた®, 着うたフル®, パソコンダウンロードシングル・アルバム)共通

名称	略号	基準
ゴールド	G	10万以上
プラチナ	P	25万以上
ダブル・プラチナ	PP	50万以上
トリプル・プラチナ	PPP	75万以上
ミリオン	M	100万以上
2ミリオン	2M	200万以上
3ミリオン	3M	300万以上
以降、100万毎に賞を設定		

基準単位: 音楽ソフト・枚、配信・DL (ダウンロード)

※着うた®のみダブル・プラチナ以上を顕彰

※ AMI: エイベックス・マーケティング / BG: ビーイング / BM: パーミリオンレコード / BV: アリオラジャパン / DF: デフスターレコーズ / EMI: EMI ミュージック・ジャパン / JE: ジャニーズ・エンタテイメント / K: キングレコード / PC: ポニーキャニオン / SE: エスエムイーレコーズ / TE: テイチクエンタテインメント / TF: トイズファクトリー / TJC: 徳間ジャパンコミュニケーションズ / TL: タイシタレーベルミュージック / UM: ユニバーサルミュージック / V: ビクターエンタテインメント / WJ: ワーナーミュージック・ジャパン

有料音楽配信 (「着うた®」他)

※「着うた®」「着うたフル®」は株式会社ソニー・ミュージックエンタテインメントの登録商標です。

「着うた®」

邦楽

● 2ミリオン

桜	コブクロ	2005.11.02	WJ
---	------	------------	----

● トリプル・プラチナ

涙そうそう	夏川 里み	2002.11.29	V
-------	-------	------------	---

● ダブル・プラチナ

創聖のアクエリオン	AKINO	2005.04.20	V
I AM YOUR SINGER	サザンオールスターズ	2008.07.16	TL
Gee	少女時代	2010.10.06	UM
何かひとつ feat. JAY'ED & 若旦那	JAMOS	2011.02.02	AMI
Alright!!	Superfly	2009.05.06	WJ
Share The World	東方神起	2009.03.25	AMI

「着うたフル®」

邦楽

● ミリオン

Story	AI	2006.02.01	UM
-------	----	------------	----

● トリプル・プラチナ

創聖のアクエリオン	AKINO	2005.04.27	V
ヘビーローテーション	AKB48	2010.08.04	K
また君に恋してる	坂本 冬美	2008.11.12	EMI

● ダブル・プラチナ

Baby Don't Cry	安室 奈美恵	2007.01.24	AMI
----------------	--------	------------	-----

● プラチナ

M&A	EXILE	2006.09.20	AMI
桜の木になろう	AKB48	2011.02.02	K
Best Friend	Kiroro	2004.11.12	V
I AM YOUR SINGER	サザンオールスターズ	2008.07.30	TL
TSUNAMI	サザンオールスターズ	2008.06.25	TL
海雪	ジェロ	2008.02.06	V
Alright!!	Superfly	2009.06.03	WJ
好きだよ。~100回の後悔~	ソナーポケット	2010.12.15	TJC
君の声を feat.VERBAL(m-flo)	西野 カナ	2009.06.24	SE
君の好きなどこ	平井 堅	2007.02.28	DF
島人ぬ宝 (しまんちゅぬたから)	BEGIN	2006.03.15	TE
ライオン	May'n / 中島 愛	2008.08.20	V

● ゴールド

Get Myself Back	安室 奈美恵	2010.07.28	AMI
SAKURA ドロップス	宇多田 ヒカル	2004.11.19	EMI
song for you	EXILE	2006.09.20	AMI
ダーリン	桑田 佳祐	2007.12.05	TL
白い恋人達	桑田 佳祐	2007.10.01	TL
トライアングラー	坂本 真綾	2008.05.08	V
LOVE AFFAIR ~秘密のデート	サザンオールスターズ	2008.07.09	TL
真夏の果実	サザンオールスターズ	2008.06.25	TL
ダイヤモンド クレバス	シェリル・ノーム starring May'n	2008.05.08	V
ノーザンクロス	シェリル・ノーム starring May'n	2008.08.20	V
射手座☆午後九時 Don't be late	シェリル・ノーム starring May'n	2008.05.08	V
Fantasia	Dragon Ash	2006.08.02	V
ロマンスの神様	広瀬 香美	2006.06.28	V
いつかまたここで	B'z	2008.10.16	BM
ココロのちず	BOYSTYLE	2006.04.22	TE
銀色の空	redballoon	2007.05.09	SE

洋楽

● ゴールド

ジェットコースターラブ	KARA	2011.03.16	UM
ブン・ブン・パウ	ブラック・アイド・ピーズ	2009.04.08	UM
ボーン・ディス・ウェイ	レディー・ガガ	2011.03.02	UM

「PC 配信 (シングル)」

邦楽

● プラチナ

ヘビーローテーション	AKB48	2010.08.18	K
------------	-------	------------	---

● ゴールド

創聖のアクエリオン	AKINO	2005.04.27	V
魂のルフラン	高橋 洋子	2007.08.15	K
タカラモノ〜この声なくなるまで〜	ナオト・インティライミ	2010.05.19	UM

洋楽

● ゴールド

ボーン・ディス・ウェイ	レディー・ガガ	2011.03.16	UM
-------------	---------	------------	----

※日付は配信開始日

協会からのお知らせ

「音楽創造のサイクル」や「著作権」の重要性の周知を目的とした、著作権啓発キャンペーン『LOVE MUSIC』の特設サイト内での「MUSIC LOVER'S 私の一枚」のコーナーでは、様々な分野でご活躍中の50名を超える著名人の方々から、ご自身が最も大切にしている一枚（レコード、CD）と、それに関わるエピソードをお寄せいただいております。キャンペーンがスタートした2010年12月17日より順次紹介していますが、この度、岡田 恵和さん、假屋崎 省吾さん、クリス・ペプラーさん、佐藤 可士和さん（掲載順）の大切な一枚をアップしました。今後も順次掲載していきますので、ご期待下さい。また、同じく本サイトにおきまして、キャンペーン企画の一環として、「著作権法30条 読上げコンテスト」を実施しています。詳細につきましては、本誌4ページをご覧ください。



■ 特設キャンペーンサイトURL

パソコン

http://www.riaj.or.jp/lovemusic_cpn/

携帯

http://www.rom-m.jp/lovemusic_cpn/



「守ろう大切な音楽を♪」キャンペーン2010
キャラクター部門グランプリ授賞作品
音めちゃん

THE RECORD No.619 2011年6月号 一般社団法人 日本レコード協会 機関誌

発行人 北川 直樹
編集人 田口 幸太郎
発行日 2011年6月10日
発行 一般社団法人 日本レコード協会
〒107-0061 東京都港区北青山2-12-16 北青山吉川ビル11F
TEL. 03-6406-0510 (代) FAX. 03-6406-0520 (代)
URL: <http://www.riaj.or.jp/>

制作協力 株式会社エフピーアイ・コミュニケーションズ

編集後記

今月号では、2010年の世界の音楽産業をレポートしております。世界の音楽市場が全体的に落ち込みを見せるなか、日本は2008年から3年連続で、パッケージ売上で世界1位の市場となっております。そのパッケージの魅力を伝える施策はさまざまありますが、5月11日から7月31日にかけて、当協会会員社16社の参加により「大人の音楽～Age Free Music～」キャンペーン第6弾が展開されています。詳細につきましては本誌3頁に掲載しておりますが、このキャンペーンをきっかけに、多くの方々にCDショップに足を運んでいただき、「大人の音楽～Age Free Music～」を聴いていただけることを期待しております。(T)

■ 当機関誌へのご意見・ご感想がございましたら、当協会公式サイト(URL: <http://www.riaj.or.jp/>)のお問い合わせページよりお寄せ下さい。